

さぬき市地域福祉計画策定委員会（第2回） 会議結果

- 1 会議日時 令和7年1月23日（木） 13:30～14:30
- 2 会議場所 さぬき市寒川庁舎3階 301・302会議室
- 3 出席者 [委員] 國方委員 吉本委員 溝渕委員 尾崎委員  
岡 委員 遠藤委員 井上委員 安藝委員  
平野委員 吉田委員 吉田委員 入谷委員  
大高委員 高嶋委員  
[事務局] 【さぬき市】新納課長 鏡原課長補佐 蔵野係長  
【社会福祉協議会】新開課長 山西主事  
【コンサルタント】リージョナルデザイン株式会社  
[傍聴人] 1人
- 4 議題 1 計画素案について  
2 パブリックコメントの実施について  
3 その他
- 5 資料 資料1 計画の施策体系  
資料2 計画素案  
資料3 市民意見提出手続実施概要書・意見書
- 6 会議要旨

発言者	意見概要等
事務局	ただ今からさぬき市地域福祉計画策定委員会・さぬき市地域福祉活動計画策定委員会を開催いたします。 皆様方には、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。 まず初めに、委員長よりご挨拶をお願いします。
委員長	(委員長挨拶)
事務局	本日の会議につきましては、さぬき市地域福祉計画策定委員会設置要綱第4条第2項の規定により、過半数以上の委員の方の出席がありますので、この会議が成立していることをご報告申し上げます。 また、会議の公開につきましては、前回の会議におきまして、「公開する」としておりますので、傍聴を許可しておりますことをご報告いたします。 本日の傍聴は1名です。
事務局	続きまして、本日の会が最初となります委員におかれましては、自己紹介をお願いします。
委員	(委員自己紹介)
事務局	ありがとうございました。 それでは、要綱第4条第3項により、委員長は会議の議長となるこ

	<p>とから、ここからの会議の進行は委員長にお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは議事に入ります。議題1に入る前に、前回の会で、資料に記載している基本目標の「共助」の部分が分かりづらいと言う意見がありました。その点について事務局の方から改めて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明 前回の意見に対する説明について)</p>
議長	<p>事務局からの説明について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>(質問・意見等なし)</p>
議長	<p>特に無いようでしたら、議題1に移ります。 議題1の計画素案について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明 議題1)</p>
議長	<p>事務局からの説明について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>いくつか意見と質問がありますがよろしいでしょうか。 計画案を見せていただいて、52ページから地区座談会の結果として評価をされていて、みなさんよく頑張っているなというのが率直な感想です。その活動をもとに93ページから次期計画を立てているのですが、例えば4分の1程度は参加するや、年に1回は開催するなど可能なものについて数値目標を入れた方が、評価に反映しやすい。さらに、地域の希薄化した人間関係の再構築を考える上で、その目標に近づきやすくなるので、可能な限り数値目標を入れた方がいいのではないかと思います。</p> <p>また、52ページからの評価のところで、「いきいきネットのデジタル講習会をしてラインの活用ができるようになってよかった」という評価があって、本当に素晴らしいと思いました。今後そういうハイブリッドの形の情報発信・情報共有の仕方をもっと取り入れてもいいと感じました。</p> <p>人材不足は日本全国どこでも一緒ですが、特に地方の過疎地ではそれが大きな問題になっているのはご承知のとおりです。私自身もそうですが、現役世代の方は、職場や趣味の組織で動くことが中心になって、生きるのに精一杯で地域に目が向かないのが現実だと思います。退職をして、どうやって生きていこうかとなった時に、初めて地域に</p>

	<p>目が向いたけれど、仕事をしているときは、地域との人間関係が濃密ではなかったので、地域に入っていく戸惑いがある方が非常に多いと思います。その退職した人たちが地域に入っていく導入のサポートが選択的にできれば、65歳でパワーがある人を中心に人材育成の形に持っていけると感じました。</p> <p>再犯防止のところで、犯罪を犯した人のことに特化しているようですが、今は高齢者をターゲットに詐欺とか強盗とか、再犯というより新たな手口の犯罪が起きているのが現実なので、それを守る取り組みがどこかにあったのか、見落としただけかもしれないが、そういった内容があった方がいいと思います。</p> <p>77ページに、安心な暮らしづくりの目標の中で、社会福祉協議会の取組として、「積極的なアウトリーチを実施する」とありますが、これは素晴らしい企画だと思います。高齢で動けない、相談をするという行動をとれない方をいかに守るかということが極めて大事だと思います。そのアウトリーチの活動を誰がいつどのようにして行うのか具現化していたら教えていただきたいです。</p> <p>友人と話をしていたら、寒川町では運動会をしていて、近所の人に「運動会があるよ」と言いに行ったらその時は面倒くさそうな反応をするが、終わった後には、「やってよかったね。来年もしようね。頑張ろうね。」と一致団結すると聞きました。企画をもとに凝集力が高まり、それがさらに「あそこの家の人出てこないから訪問してみようか」、「お茶に誘ってみようか」という行動に発展していく。それを聞いてすごいなと思いました。そういった仕掛けから近所付き合いができ、日々の生活に協働ができて、人間関係の希薄化はないとびっくりする返事が返ってきました。地区毎の特徴があるので、その地区の活動に予算を活用していると思いますが、そういった地区があることを聞いたので、参考になればと思って発言させていただきました。</p>
議長	貴重なご意見をありがとうございました。たくさん気付きがあって本当に大事なことだと思います。6点ほど委員さんからご意見いただきましたが、事務局から回答をお願いします。
事務局	6点のご質問がありますので、前後するかもしれませんが、回答をさせていただきます。 評価項目の数値化につきましては、地域福祉計画は、アンケート調査やワークショップででてきた課題について、例えば、高齢者を取り巻く諸問題、人材の高齢化といったことに対して、今回の基本理念・目標を掲げ、それぞれの項目について、住民の取組、地域の取組、社会福祉協議会の取組、行政の取組を記載しております。こういった形で地域福祉計画に関しては、細かい数値目標までを定めることではな

	<p>く、市の方向性・取組の考え方を示すようにしております。数値目標につきましては、それぞれの分野の下位の計画の中で協議をして数値目標の設定をさせていただいております。例えば介護保険事業計画がありますが、この中では地域ケア個別会議を年に何回開催するとか、生活支援整備体制事業研修を年に何回するといった数値的な目標の設定をしています。</p>
委員	<p>私が提案したのは、行政の人ではなく、実際に住んでいる各地区の住民が数値目標を立てるということが、一つの目標にもなるし、団結力も高まるのではないかと思います提案しました。</p>
事務局	<p>わかりました。地区の活動計画の方で受け止めさせていただきます。</p>
事務局	<p>93 ページからの各地区の地域福祉活動計画については、年次計画を地区ごとに載せています。ワークショップで、地域ごとのグループを作って話したことを、事務局が大まかにとりまとめて年次計画を作らせていただきました。数値目標を立てた方が住民さんにとっても目標になりますので、計画書の中ではこういった形で載せさせていただきましたが、委員さんが今後進捗管理をしていく中では、数値目標が入れられるものには数値を入れて進捗管理をしていこうという形にさせていただいております。年次計画の中にも数値目標が表せるものについては少し修正させていただこうと思っています。</p>
委員	<p>座談会をするときにアドバイザーがいると思うということも含めて提案させていただきました。</p>
事務局	<p>次に、再犯防止計画につきましては、市の人権推進課で再犯防止の取組について進めているところですが、今回、この地域福祉計画と一体的に計画策定を進めようということとなり、再犯防止に特化した計画を載せています。ご意見のあった防犯については、72 ページに「障がいのある人や認知症の高齢者等に対する犯罪被害を防止するため、振り込め詐欺などの防犯知識の周知徹底や、悪徳商法等の消費者被害防止に向けた情報提供を行います。」と表記させていただきました。</p> <p>また、人材育成等で退職後の地域に入っていくサポートづくりについては、今回の計画の中ではそこまでの記載はできておりませんので、検討していきたいと思っています。</p>
事務局	<p>人材育成のところで補足で説明させていただきます。現在、社会福祉協議会で実施している人材育成というのは本当に難しいことだと思っております。冒頭で委員長さんが言われたように、災害に特化した取組が地域や自治会でも興味を持たれているところです。今、社会福祉協議会では、いろんな場面で災害の取組、災害に強いまちづくりとはどういったものか、私たちにできることは何かを座談会も展開して</p>

	<p>います。興味を持たれている方を人材育成につなげていくというように少しずつではありますが取り組んでいます。</p> <p>また、アウトリーチにつきましては、社会福祉協議会の機能の中で、コミュニティソーシャルワークということで全職員が動いています。生活困窮者の生活のしづらさをキャッチするという意味では、コロナの特例貸し付けがあった時に、全世帯を訪問してアウトリーチを展開し、様々なニーズの掘り起こしとその分析を進めているところです。これからのアウトリーチの展開は新しいニーズキャッチの一つとして進めていきたいと考えています。</p>
議長	<p>社協からの補足で、今週の土曜日に「元気にセカンドライフを送るための講座」を社会福祉協議会で開催します。そういった講座等をきっかけに地域とのつながりを作っていくのはどうかという風にも考えています。退職された方たちについては地域にどうやって入っていったらいいのかわからないのが現状だと思いますので、そういった方たちを探してつないでいくのか、人材不足の現場をどうすればいいのか、そういった講座も考えていかなければいけないと思っています。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ほかに、この素案以外でも構いませんので、地域福祉の考え方等についてご意見を頂戴できればありがたいですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど説明を受けた72ページですが、「障がいのある人や認知症の高齢者に対する犯罪被害を防止する」とありますが、犯罪被害に遭うのは障がいのある人や認知症の高齢者であると限定していいのでしょうか。文面について再考をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>表現の仕方を考えまして、次回原案の時に表現を変えた形で説明させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>70ページの避難行動要支援者名簿について、今、何%程度できているのでしょうか。こういった会議では、いつもこの言葉が出てきますが、分かる範囲でお答えいただきたいです。</p>
事務局	<p>昨年度の話になりますが、さぬき市全体で95%以上できています。今年度も進めているところですが、2月中旬までには95%以上できると考えています。</p>
委員	<p>さぬき市全体でそんなにできているんですね。</p>
議長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それでは、議題2のパブリックコメントの実施について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(事務局説明 議題2)
議長	事務局からの説明について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくをお願いします。
委員	(質問・意見等なし)
議長	特にないようでしたら、以上で本日の議事を終了いたします。皆さまのご協力により活発な協議がなされたことにつきまして、心からお礼を申し上げまして、議長の役から降りさせていただきます。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局の方から次回開催日時についてお知らせいたします。次回の第3回策定委員会は令和7年3月21日(金)午後1時30分から、この301・302会議室で予定していますので、よろしくお願いたします。改めて文書の方でも通知させていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の会議は終了いたします。</p> <p>長時間の御協議、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。</p>